

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名：大津市都市計画部市街地整備課

事業の名称：石山地区交通結節点改善事業

実施都市名：滋賀県大津市

事業目的

JR石山駅は近傍に紫式部ゆかりの石山寺などの観光地を有する大津市の南部地域の玄関口として、県内有数の乗降客数を有するJR駅で、また京阪電鉄石山坂本線の京阪石山駅との間での乗り換え利用者が多数存在する主要駅であるが、両駅の駅舎は道路や踏切を挟んで接続が悪く、歩行者の安全確保が重要課題であった。

また、駅前広場については狭小で、恒常的に一般車輛とバス、タクシーが混在し、公共交通の配置計画の見直しが必要とされていた。

石山地区結節点改善事業により、交通結節点機能強化及び安全性の確保を目的とした。

事業概要

事業名：石山地区結節点改善事業

路線名：石山駅湖岸線他2線

事業箇所：大津市粟津町ほか

事業延長：310m

幅員：16～17m

総事業費：約80億円

事業期間：平成10年度～平成19年度

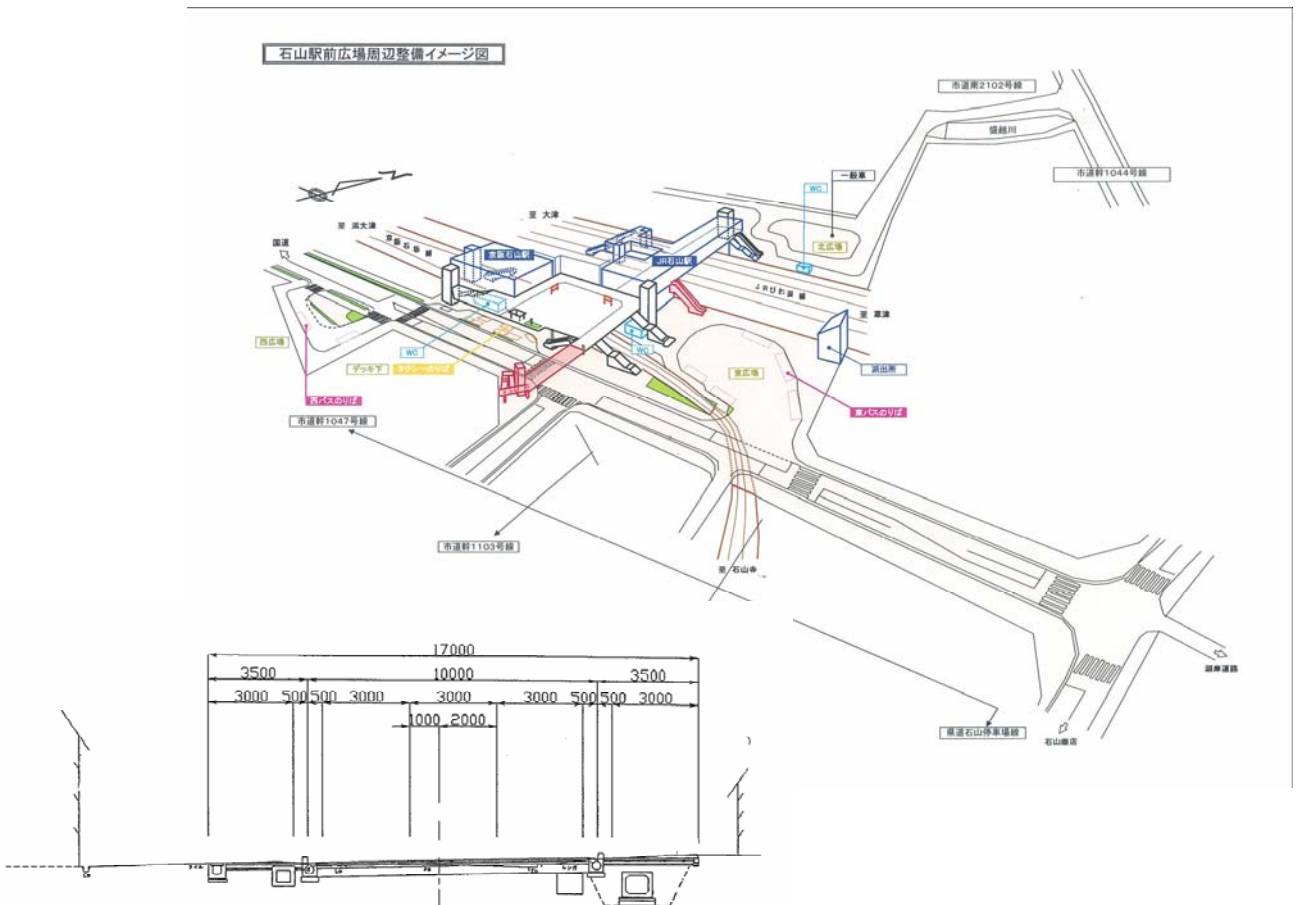
本事業は、都市計画道路の整備に伴い支障となる京阪電鉄石山駅を、JR石山駅に隣接する位置に移設し、両駅舎をペDESTリアンデッキ（歩行者専用デッキ約2,000㎡）で結んで交通結節機能の強化を図った。

また、輻輳していた駅前広場を整備することで、路線バス、タクシー、一般車両を分離し、同時に石山駅湖岸線他2線約310mの整備を行い、円滑なアクセスの向上を図った。

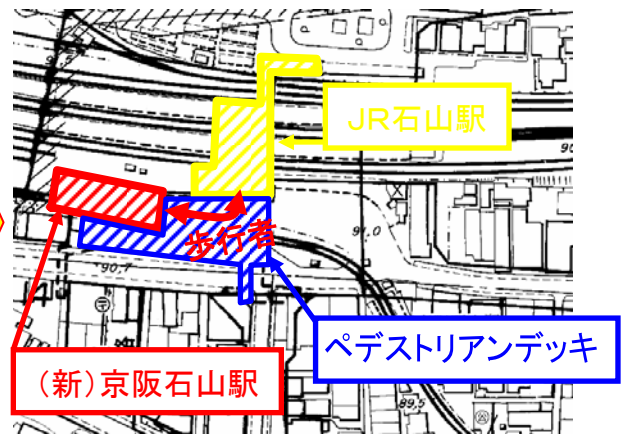
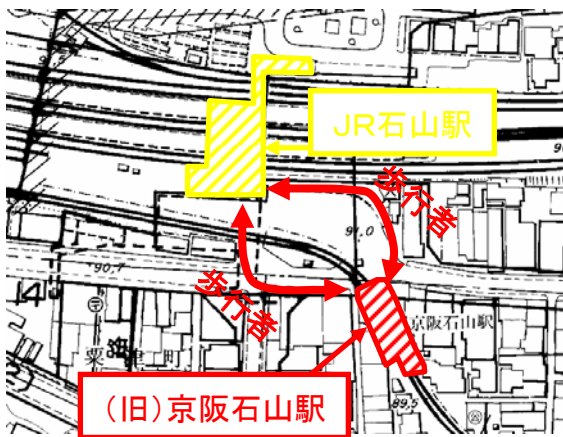
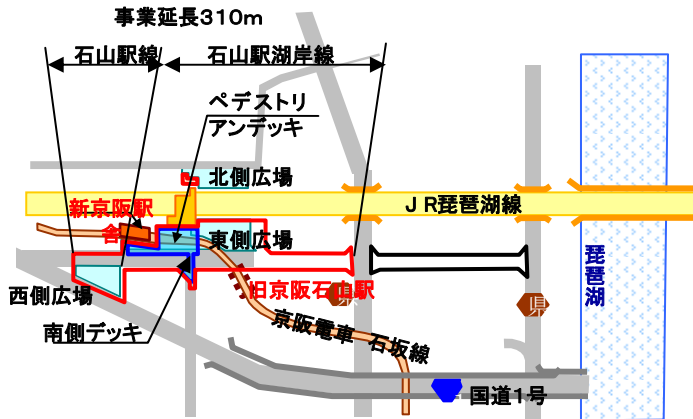
事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



石山地区結節点改善事業の 整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 石山地区結節点改善事業
 路線名: 石山駅湖岸線他2線
 事業箇所: 大津市粟津町ほか
 事業延長: 310m
 幅員: 16~17m
 総事業費: 約80億円
 事業期間: 平成10年度~平成19年度

○交通量調査結果

供用前 平成16年度
 供用後 平成18年度
 京阪石山駅乗降客数
 5,045人/日 ⇒ 5,729人/日

「整備効果」

- ・京阪石山駅乗降客数について、1日あたりで供用前の平均5,045人⇒供用後が平均5,729人と約700人増加している。
- ・JRと京阪の乗換えを含む歩行者の移動について、踏切や道路を横断する必要が無くなったことにより、時間短縮、定時性、安全性の確保が図られることになった。
- ・西側駅広とタクシー乗り場を新設し、バス、タクシー、一般車両を分散させることで駅周辺の渋滞が緩和でき、アクセス性が向上した。
- ・ペDESTリアンデッキやエレベーター、エスカレーターを設置したことにより、歩行者の上下移動の快適性が向上した。
- ・駅前広場の整備等を契機としてテナントビルが建設され、新たな店舗等の進出が見られた。

事業前写真

南口整備前

平成10年4月撮影



旧京阪石山駅

平成10年4月撮影



事業後写真

南口整備後

平成19年12月撮影



新京阪石山駅

平成19年12月撮影

